

祈りの絆

連盟の被災地支援に関する情報は、連盟ホームページをご覧ください。<http://www.bapren.jp/>

お祈りください

1. 福島第一原発事故の収束に至る行程が守られるように。
2. 被災されている方々や、子供たちの健康が支えられるように。
3. 被災地支援における各委員会の働きを覚えて。
4. 必要のすべてが整えられるように。

各地の3・11

今年の3月11日は、「あの日もこんな雪だった。」どのチームからもその声が聞かれた小雪の舞う寒い一日でした。そのような中、それぞれの追悼の夕べにおいて、震災と原発事故の惨状を振り返り、賛美と深い祈りが捧げられました。今年の3・11を覚える日は、現地で支援活動をしている私たちにとって、昨年よりもつらい日だったように思います。放送される震災当日の映像を見ながら、どのチームも必死で走ってきた震災から今日までに、出会った人々の顔が浮かび、破壊された町の今が見え、お名前を知っている方々の呻き（うな）が聞こえてくる思いがしたからだと思います。昨年よりも、ずっと身近に感じたと同時に、苦悩の涙溢れる各地の3月11日追悼式でした。2011年3月11日午後14時46分18秒、マグニチュード9.0、死者15,882人、震災関連死を含むと約2万人、行方不明者2,668人、負傷者6,135人、全壊住宅12万8,931戸、避難者31万3,329人、親を亡くした子ども1,295人。数字の背後には、お一人お一人の人生、そしてはかり知れない涙と苦悩があります。その苦しみは今も進行形。ですから今回、もう一度この数字を書かせてください。ぜひ祈りに覚えてください。野田村仮設、安渡小学校仮設、大槌町14仮設、吉里吉里仮設、小籠第4仮設、小籠第7仮設、気仙沼仮設、宮前仮設、牡鹿支援、緑ヶ丘仮設、しのぶだい仮設、他にも活動が増える可能性も含めて、それぞれの支援活動が続きます。どうぞ支えてください。



追悼の夕べ 仙台教会



3.11 郡山教会

皆様の教会、連合の活動に東日本大震災被災地支援に関する項目はありますでしょうか。毎月、発行させていただいております「祈りの絆」は皆さんが読みやすい場所に掲示していただいていますでしょうか。ホームページは見

ていただいていますでしょうか。震災の状況を知ってください。よろしく願いいたします。

「苦勞様でした」

震災直後から現地支援委員長を担ってくださった郡山コスモス通りキリスト教会の鈴木牧人牧師が3月末で転任されるため、現地支援委員長は仙台北キリスト教会の金丸真牧師に引き継がれます。また、2011年10月より遠野ボランティアセンター主事として働いてくださった佐藤浩主事も主事としての働きは3月までで転任されますので4月からは専任スタッフ不在の新しい体制で遠野ボランティアセンターを運営いたします。そして、災害対策本部（現東日本大震災被災地支援委員会）の委員長としてお働きくださった奥村敏夫理事長は委員長を退き、被災地と連盟事務所を歩き来し、身を粉にして働いてくださいました加藤誠常務理事も退任されます。奥村理事長、加藤常務理事、鈴木現地支援委員長、佐藤センター主事。本当にありがとうございました。4月より東日本大震災被災地支援委員会は吉高叶委員長の下、新体制で動き始めます。お祈りください。

今度の活動

全国小羊会キャンプに福島旭町キリスト教会より6名、郡山コスモス通りキリスト教会より4名の子どもたちが保養プロジェクトとして参加いたします。震災から2年。外で思いっきり遊べない日々でした。自然溢れる天城。引率する私も子どもたちの笑顔を思い浮かべ心が躍ります。お祈りください。

(現地支援担当・金子千嘉世)

遠野ボランティアセンター便り

3月11日東日本大震災から2年を数えまして。この日に合わせ、3月7日から南小倉教会の青年2人がボランティアに来て下さいました。献花を用意し、大槌第14仮設では一軒一軒を廻り、お花をお配りしました。また、吉里吉里ぬくっこハウス、小籠第7仮設、小籠第4仮設の3カ所の集会所ではお茶っこを開催し、そこに来られた方お一人お一人にもお花をお配りしました。被災者の方は誰もが家族や親族、あるいは友人など親しい方を震災で亡くしておられ

すので、私たちがお配りしたお花を喜んで受け取ってくださいました。また、今回ボランティアに来てくれた青年のうち1人はこの4月から歯科医になる青年で、仮設の皆さんに歯磨き講習会をしてくれました。大槌町では歯科医院が全て被災し、先月まで一軒の歯科医院のみが再開していましたが、それも医療器具等の不足などで現在一旦閉鎖中です。

復興は始まったばかりであり、終わったのではない、と強く思われました。

今回2度目のボランティアとして来てくださった青年たち、また、福岡で募金活動を続け、募金やカードを届けてくださった西南学院大学の学生たち、篤い祈りと募金で支えてくださった連盟諸教会・伝道所の方々、連盟関係諸団体のご厚意に心から感謝いたします。

(遠野ボランティアセンター主事・佐藤浩)



南小倉教会青年たち



2013年度東日本大震災被災地支援の働き (機能とサポート体制)

理事会のもと、次の体制で支援を行います。

◇ 東日本大震災被災地支援委員会

(略称：東日本委員会)

委員長：吉高 叶

副委員長：村上千代

委員：金子千嘉世(現地支援)、鈴木牧人、城倉啓、濱野道雄、蛭川潤子、大城戸一彦(事務局長)

陪席：朴 思郁 (宣教研究所)

<主な働きと責任者>

- ◇ 支援計画立案と全体統括 (吉高 叶)
- ◇ 被災地教会活動支援 (金子千嘉世)
- ◇ 遠野ボランティアセンター活動 (金子千嘉世)
- ◇ 被災地域支援 (金子千嘉世)
- ◇ 原発課題への取組み (濱野道雄)
- ◇ 情報発信、資金管理等 (大城戸一彦)
- ◇ 建物、復興機材管理 (大城戸一彦)

◇ 現地支援委員会

委員長：金丸 真 (仙台北)

委員：大須賀真人(盛岡)、伊東信吉 (大富) 八巻正之 (仙台)、大山英明 (大富) 齊藤弘司 (大富)、古川力 (仙台北) 牛木さくら (浦和)

陪席：金子千嘉世 (東日本委員会) 大城戸一彦 (東日本委員会)

<支援チームと責任者>

- ◇ 青森・岩手チーム (大須賀真人)
- ◇ 宮城チーム
- ◇ 福島チーム

東日本大震災被災地支援募金にご協力ください

すべての支援活動は、募金によって支えられています。

2012年度募金目標額 (一般募金): 2,000万円

<2013年3月23日現在 募金状況>

国内から 1,772万円 国外から 375万円

<<合計 2,147万円>>

2012年度

募金目標達成!!

上記の他に指定(主に海外から)募金19,327,939円があり、指定された用途に用いられます。

お祈りとご協力に心から感謝申し上げます。

送金先: 郵便振替00140-9-180881 宗教法人日本バプテスト連盟総務部

※「大震災被災地支援募金」と明記してください。※募金は極力、教会単位でご送金ください。

海外からの募金は別口座になります。総務部までお問い合わせください。